

授業科目 レクリエーション指導論

【担当教員名】 小林敬子	対象学年	1	対象学科	理学・作業・言語・健康・社会
	開講時期	前期	必修・選択	選択
	単位数	1	時間数	15

<概要>

福祉や医療の分野におけるレクリエーション活動の意義について理解するとともに、実践指導の方法やレクリエーション計画の作成に関する基礎知識を学ぶことをねらいとし、講義の他ビデオや実習も加えて授業を行う。

<学習目標>

1. 福祉や医療の分野におけるレクリエーションの意義と役割について理解する。
2. レクリエーション指導者（援助者）の役割と援助の方法について理解する。
3. 基本的なレクリエーション財を用いた指導計画の立て方について理解する。

回数	授業計画又は学習の主題	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	レクリエーションとは福祉や医療の分野におけるレクリエーションの意義と役割について理解する	講義・ビデオ
2	レクリエーション援助者レクリエーションの利用者と援助者の望ましい関わり方について理解する。と援助者の役割	講義・ビデオ
3	集団を介してのレクリエーション援助者集団を介してのレクリエーション援助の意義・アプローチの方法について学ぶ	講義・ビデオ
4	個人に対するレクリエーション援助者個別レクリエーション援助の意義・アプローチの方法について学ぶ。	講義・ビデオ
5	レクリエーション財とはレクリエーション財の分類と内容について学ぶ。	講義・実習
6	レクリエーション計画レクリエーション計画の目的設定～評価にいたるプロセスについて理解する	講義・実習
7	まとめ学習のまとめと質疑応答。後期レクリエーション指導法についての説明。	講義

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書	レクリエーション活動援助法 (介護福祉士養成講座⑥)	福祉士養成講座委員会編	中央法規	2001年発行改訂版 2200円
参考書	授業中に適宜紹介する。			
その他の資料	必要の都度配布する。			

【評価方法】

出席・小テスト・定期試験（レポート）から総合的に判断する。

【履修上の留意点】

出席を重視する。
受け身でなく、自ら考え積極的に参加することを期待する。